

BCP HAND BOOK

BCP対応
ハンドブック

会社名:

社員番号:

所属:

氏名:

血液型:

持病:

製作：ミネルヴァベリタス株式会社

地震が発生したら

屋外にいる場合

津波の発生が考えられる場合

①窓ガラスや看板などの落下物に注意し、手荷物など頭部を守り、最寄の広場や避難場所へ避難しましょう。

②避難にあたっては建設中や老朽化している建物から離れて移動しましょう。

③津波が発生した場合は、「遠く」よりも「高く」を意識して避難しましょう。避難にあつては津波避難ビルもしくは避難に適した建物(鉄筋コンクリート造りなど3階建て以上の建物)の3階以上に避難しましょう。

ハンドブックの目的

本ハンドブックは、当社が大規模災害(南海トラフ巨大地震や豪雨による浸水害など)の発生時において、従業員が混乱することなく迅速に初動対応を実施し、速やかな事業復旧へ繋げることを目的として作成されました。

大規模災害発生時の連絡体制

情報提供

下記の“脅威”が発生した場合は、情報提供を実施します。

当社の“事業継続に大きな影響を与える可能性がある脅威”が発生した場合、必要に応じて会社が従業員に対し、メールを用いて、各種情報(警報・注意報、脅威に関する情報、避難情報、出社・帰宅に関する情報など)を提供します。メールを受信した従業員は、必ずその内容を確認し、速やかに確認した旨を返信して下さい。

安否確認

下記の“脅威”が発生した場合は、安否確認を実施します。安否確認実施後は、速やかにBCP対応に移行して下さい。

1京都市において“震度5弱以上の地震”が観測された場合

2“地震以外のその他の脅威”が発生し、従業員の安否確認を実施する必要がある場合

会社が従業員に対し、電話またはメールによる安否確認を実施します。メールを受信した従業員は、必ずその内容を確認し、速やかに回答(被災状況、出社・帰宅の可否、支援の必要性の有無など)を返信して下さい。
※安否確認の回答が得られない場合は、安否不明者として扱われますので、被災状況を問わず、必ず回答をして下さい。

地震発生時の対応

屋内にいる場合

津波の発生が考えられる場合

①安全行動三原則「まず低く」「頭を守り」「動かない」に従い、窓際やキャビネットなどから離れて、机の下などに入り身を守りましょう。

②揺れがおさまったら扉や窓を開けて避難経路を確保するとともに火元とになる場所(給湯室など)の確認を行ないましょう。

③エレベーター内で揺れを感じたら、全ての階のボタンを押し、停止した階で降りましょう。なお、エレベーターに閉じ込められたときは、無理に天井などから出ようせず、非常ボタンを押して救助を待ちましょう。

地震発生時の対応

屋外にいる場合

津波の発生が考えられる場合

①安全行動三原則「まず低く」「頭を守り」「動かない」に従い、窓際やキャビネットなどから離れて、机の下などに入り身を守りましょう。

②揺れがおさまったら扉や窓を開けて避難経路を確保するとともに火元とになる場所(給湯室など)の確認を行ないましょう。

③エレベーター内で揺れを感じたら、全ての階のボタンを押し、停止した階で降りましょう。なお、エレベーターに閉じ込められたときは、無理に天井などから出ようせず、非常ボタンを押して救助を待ちましょう。

家族との取り決め

家族の連絡先

最寄の避難所

その他

④お問い合わせ対応について

当社の事業が中断した場合、多数のお客様から“製品・サービスへの供給責任を問われる事態”に陥ることが想定されます。従業員はお客様に対して不確定な情報の開示や納期回答などを待つことは避けません。必ず会社と連携を図って下さい。

※対応の例
「大地震発生による対応に伴い、製品・サービスの供給責任に関するお問い合わせについては専用窓口を設置しております。大変恐れ入りますが、弊社からのご案内をお待ち下さい。」

⑤大規模災害発生時に活用できる各種ツール
政府、報道機関、民間企業などが大規模災害発生時に活用できる各種ツールを開発し、無償提供しています。必要に応じてこれらのツールをインターネットで検索し、有効活用して下さい。

⑥Yahoo! Japan 防災速報
国土交通省 防災情報提供センター
気象庁 地震情報
気象庁 台風情報
気象庁 アメダス
気象庁 危険度分布
Yahoo! Japan 天気・災害 雨雲アムレーダー
トヨタ自動車株式会社 通れた道マップ

家族との連絡手段

災害用伝言ダイヤル使用手順

①伝言の録音

②伝言の再生

③171をダイヤルします

④ガイダンスが流れます「こちらは災害用伝言ダイヤルです」※「3」「4」は暗証番号の設定なので使用しないこと

⑤録音再生

⑥家族と取り決めた下記の番号をダイヤルします。

⑦アナウンスに従い伝言を録音する

⑧アナウンスに従い伝言を再生する

⑨自動で終話します

伝言可能件数：1電話番号につき最大20件
録音時間：1件につき30秒以内
伝言保存期間：提供期間終了まで

車両移動中に大規模災害が発生したら

運転中に大規模災害が発生した場合の行動

①安全な方法で道路の左側に停止させる。急ブレーキを避けて出来るだけ停止後は、ラジオで災害情報を聞き、会社からの指示に従い出社して下さい。なお、会社と連絡が取れない場合は公共交通網や二次災害に遭う危険性に関する情報を十分収集した上で、自ら出社可否の判断をして下さい。

②外出先・出張先からの帰社について
災害被害が発生している場合は、自らの生命の安全確保を最優先に行動し、事業所周辺域の安全が確認されてから帰社して下さい。

③通信手段の確保について
検索し、最寄りの公衆電話を使用して下さい。場所をキーワードとしてインターネットで公開されています。公衆電話の設置場所はWEBサイト扱われます。電話は通信規制の対象外として優先的に取り扱われます。災害等の非常時において電話が混み合い、通信規制が実施される場合であっても、公衆電話は通信規制の対象外として優先的に取り扱われます。

④帰宅時間外に大規模災害が発生したら
会社の指示に従い行動して下さい。

⑤本アプリの内容に従い行動して下さい。

車両移動中に大規模災害が発生したら

運転中に大規模災害が発生した場合の行動

①安全な方法で道路の左側に停止させる。急ブレーキを避けて出来るだけ停止後は、ラジオで災害情報を聞き、会社からの指示に従い出社して下さい。なお、会社と連絡が取れない場合は公共交通網や二次災害に遭う危険性に関する情報を十分収集した上で、自ら出社可否の判断をして下さい。

②外出先・出張先からの帰社について
災害被害が発生している場合は、自らの生命の安全確保を最優先に行動し、事業所周辺域の安全が確認されてから帰社して下さい。

③通信手段の確保について
検索し、最寄りの公衆電話を使用して下さい。場所をキーワードとしてインターネットで公開されています。公衆電話の設置場所はWEBサイト扱われます。電話は通信規制の対象外として優先的に取り扱われます。災害等の非常時において電話が混み合い、通信規制が実施される場合であっても、公衆電話は通信規制の対象外として優先的に取り扱われます。

④帰宅時間外に大規模災害が発生したら
会社の指示に従い行動して下さい。

⑤本アプリの内容に従い行動して下さい。